

次の成長ステージに向けて

ナブテスコ 株式会社

代表取締役社長 小谷和朗

2013年3月

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

- I. 統合への歩み
- II. 会社概要
- III. セグメント別主要製品
- IV. 2013年3月期連結業績見通し
- V. セグメント別業績概況・見通し推移
- VI. 今後の事業見通し
- VII. トピックス
- VIII. 主要経営指標
- IX. 長期投資戦略要点

統合への歩み

Nabtesco



帝人製機株式会社 1944年設立

NABCO

株式会社ナブコ 1925年設立

2002年11月
経営統合に関する基本合意

2003年 9月
ナブテスコ設立 (純粋持株会社)

2004年10月
事業統合完了

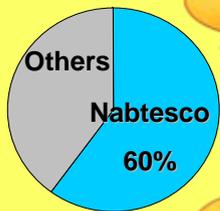
- 会社名 ナブテスコ株式会社
(英文名：Nabtesco Corporation)
- 設立 2003年9月29日
- 所在地 東京都千代田区平河町2丁目7番9号
- 資本金 100億円
- 代表者 代表取締役社長 小谷 和朗
- 従業員数* 単体 2,075名 連結 5,119名
- 連結会社数* 国内：11社（他持分法適用会社：6社）
海外：31社（他持分法適用会社：3社）

(*2012年9月末時点)

精密機器セグメント 主要製品

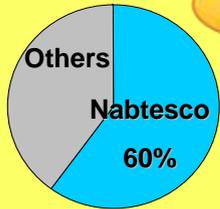
精密減速機

製品特長
高精度 高剛性



No.1

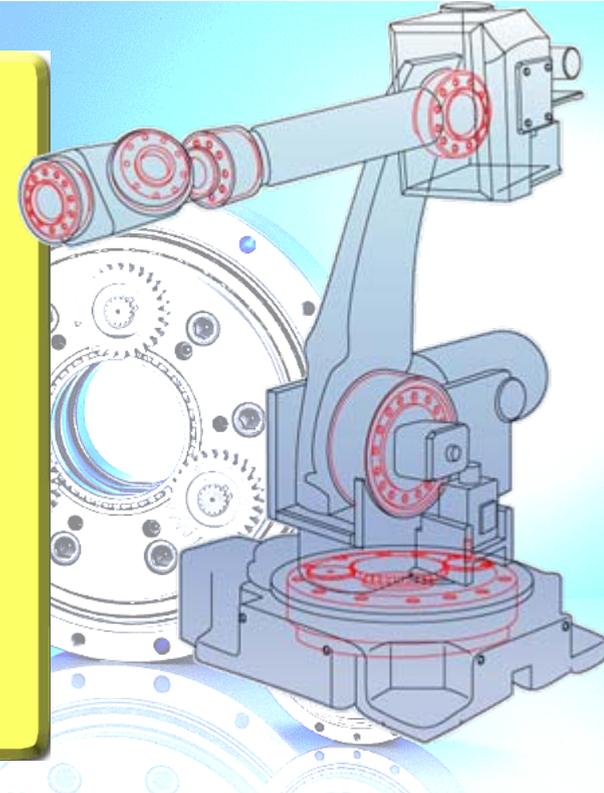
産業用ロボットの関節用世界シェア約60%



No.1

工作機械 ATC駆動用国内シェア約60%

(ATC = Automatic Tool Changer)



主要顧客（敬称略）

産業用ロボット：ファナック、安川電機、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

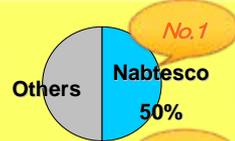
工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、森精機製作所

輸送用機器セグメント 主要製品

Nabtesco

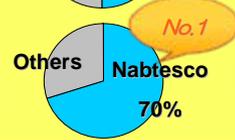
鉄道車両用機器

鉄道車両用ブレーキシステム



国内シェア約50%

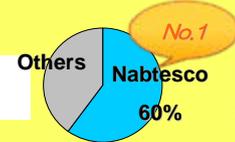
鉄道車両用ドア開閉装置



国内シェア約70%

船用機器

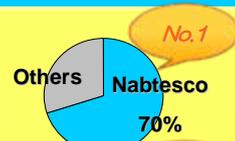
船用エンジン遠隔制御システム



国内シェア約60%
(世界シェア約40%)

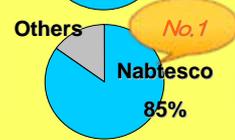
商用車用機器

商用車用ウェッジチャンバー

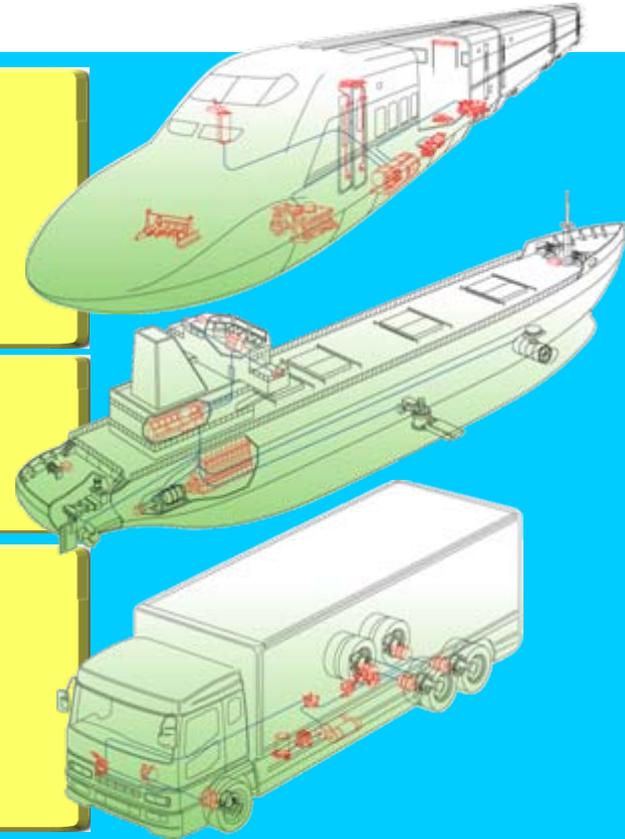


国内シェア約70%

商用車用エアドライヤー



国内シェア約85%



主要顧客（敬称略）

- 鉄道車両用機器 JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け
- 船用機器 川崎重工業、三井造船、三菱重工業、日立造船、ディーゼル ユナイテッド、Hyundai Heavy Industries (韓)、MAN Diesel (デンマーク)
- 商用車用機器 三菱ふそうトラック・バス、日野自動車、いすゞ自動車、UDトラックス

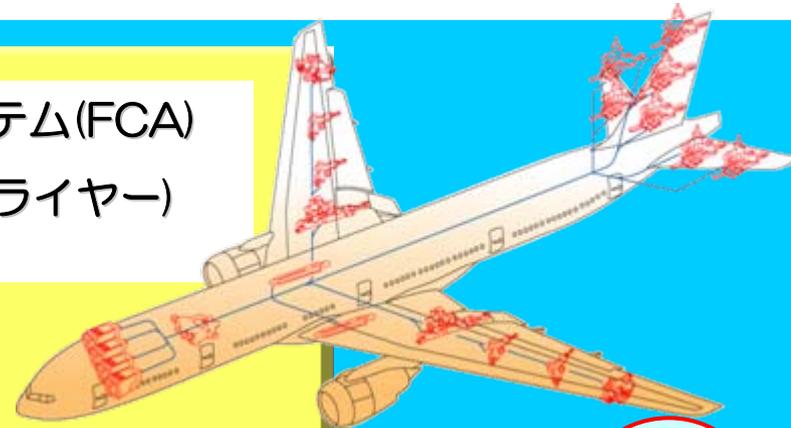
航空・油圧機器セグメント 主要製品 Nabtesco

フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

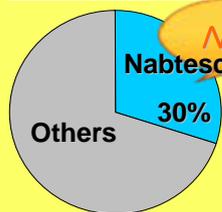
- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システムへも事業展開



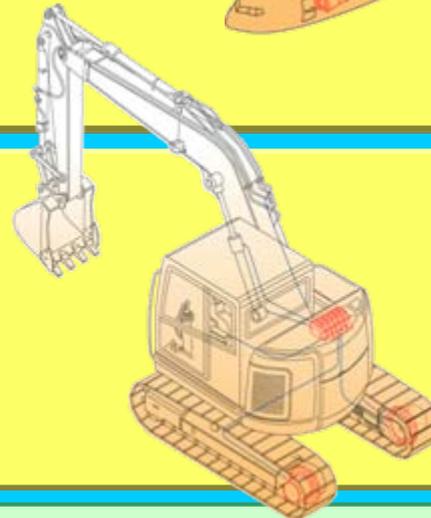
FCAの国産機シェア約100%



パワーショベル用走行モーター



世界シェア約30%



風力発電機用駆動装置

主要顧客 (敬称略)

● 油圧機器

走行モーター: コマツ、コベルコ建機、住友建機、Sany、Xugong Excavator、Zoomlion、Liu Gong、Doosan

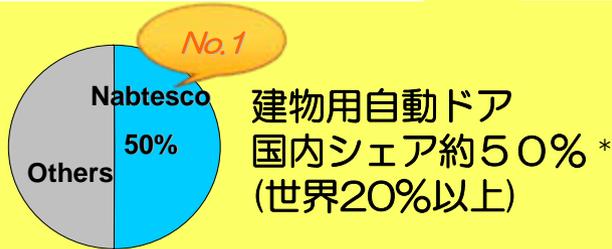
風力発電機用駆動装置: 三菱重工業、他

● 航空機器

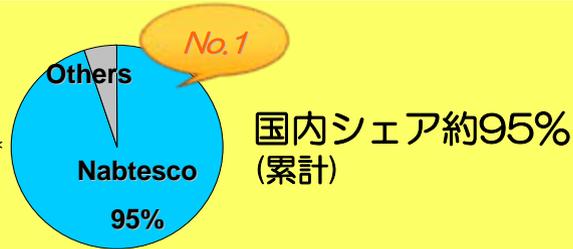
Boeing (米)、三菱重工業、川崎重工業、IHI、防衛省、全日本空輸、Singapore Airlines

産業用機器セグメント 主要製品

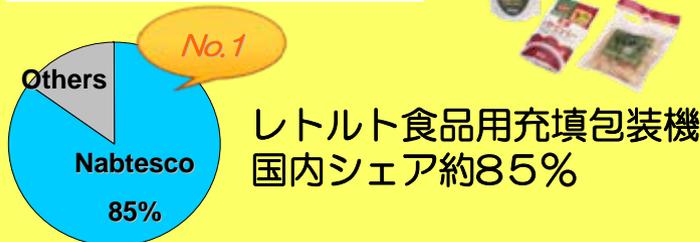
自動ドア開閉装置



プラットフォームスクリーンドア



包装機



主要顧客（敬称略）

●自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットフォームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

●包装機：味の素、丸大食品、三井製糖、P&G、花王、ライオン、Mars (仏)、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

2013年3月期連結業績見通し

(単位:百万円)	2012/3			2013/3			
	上期実績	下期実績	通期実績	通期(前回予想)	上期実績	下期見通し	通期見通し
売上高 (前年同期比)	97,671 (+23.5%)	100,856 (+11.8%)	198,527 (+17.3%)	185,000 (-6.8%)	90,666 (-7.2%)	89,834 (-10.9%)	180,500 (-9.1%)
営業利益 (前年同期比)	12,234 (+29.4%)	10,624 (-1.2%)	22,858 (+13.1%)	17,000 (-25.6%)	7,595 (-37.9%)	6,605 (-37.8%)	14,200 (-37.9%)
営業利益率	12.5%	10.5%	11.5%	9.2%	8.4%	7.4%	7.9%
経常利益 (前年同期比)	13,201 (+27.9%)	11,455 (-4.9%)	24,656 (+10.2%)	19,200 (-22.1%)	8,470 (-35.8%)	7,930 (-30.8%)	16,400 (-33.5%)
当期純利益 (前年同期比)	8,351 (+41.2%)	6,405 (-14.3%)	14,756 (+10.2%)	14,300 (-3.1%)	6,513 (-22.0%)	5,487 (-14.3%)	12,000 (-18.7%)

一株当たり配当金	17円	17円	34円	36円(予)	18円	16円(予)	34円(予)
----------	-----	-----	-----	--------	-----	--------	--------

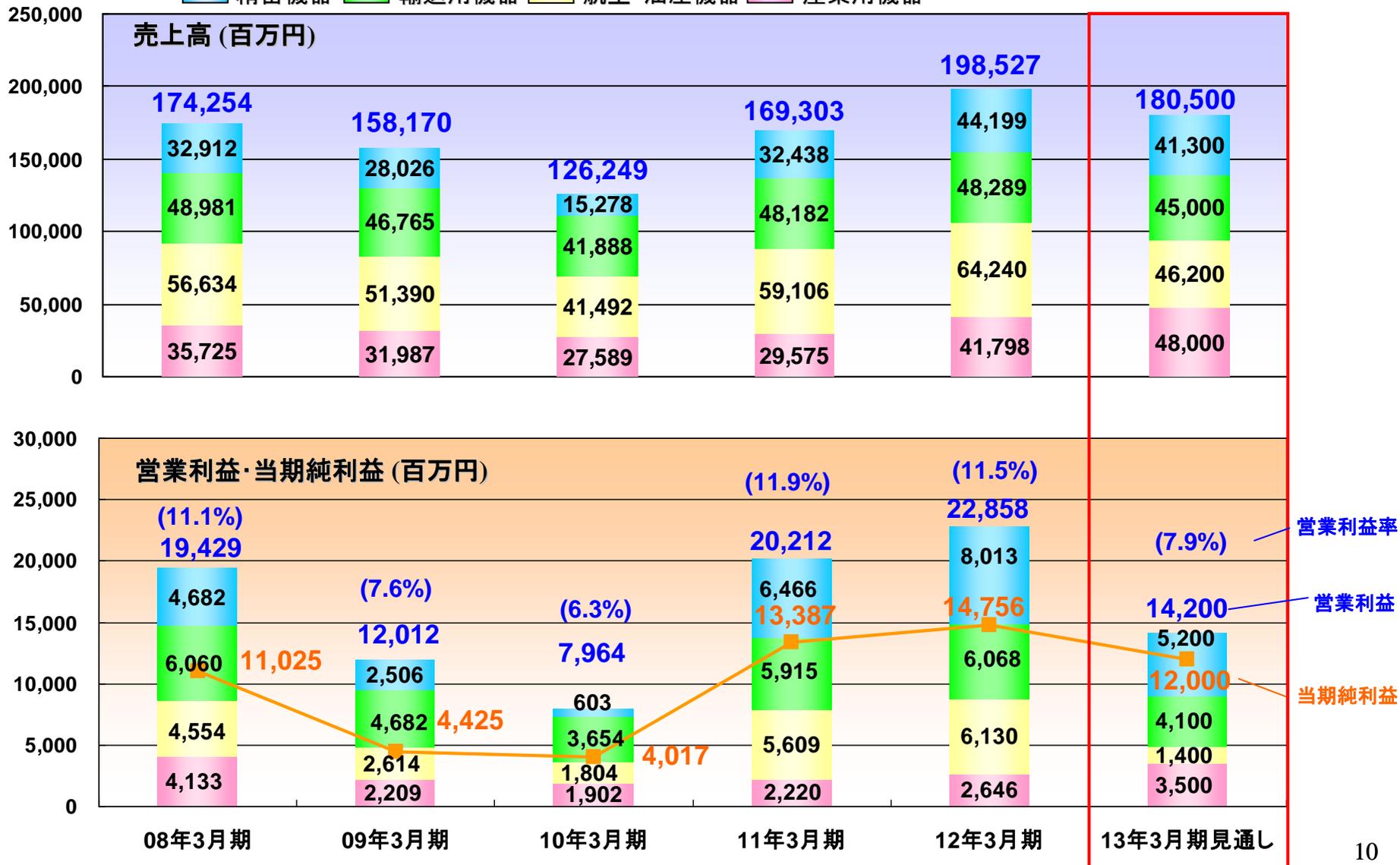
Notes: 通期見通し

●中国よりの受注回復遅れによる鉄道車両用機器事業の売上減、顧客の在庫調整の影響を受けた精密機器事業の売上減、中国建機市場依存度の高い油圧機器事業における売上減など直近の動向を踏まえ、第3四半期に二回目の下方修正をした。

セグメント別業績概況・見通し推移



■ 精密機器
 ■ 輸送用機器
 ■ 航空・油圧機器
 ■ 産業用機器



鉄道車両用機器 日本市場

- 成熟マーケット
- 売上高は+/-5%程度で安定
- 工場の操業度改善がKey Point

船用機器

- 造船市場の不況はしばらく続く
- Nox規制対応の新製品の寄与と市場回復により2015/3後半からの業績改善を期待
- コスト削減対応がKey Point

商用車用機器

- トラックの東南アジア需要拡大が続く
- 新しい市場の開拓が重要(インドでJV設立)

航空機器

- 防衛省向けは安定
- Boeing向けは増収
- B777をメインとしたMROビジネスの拡大

自動ドア

- 世界4極販売ネットワークの展開
- 国内をはじめバリューチェーン経営による収益性改善

包装機

- 2014/3以降国内製糖向けの特需がなくなる
- 国内市場は成熟している
- 海外市場への拡販がKey Point

※(MRO=Maintenance, Repair and Overhaul)

精密減速機

- 自動車の設備投資がしばらく牽引
- 太陽熱発電向け案件の受注タイミング(欧州、米国、アフリカ)がKey Point

鉄道車両用機器
海外市場

- 中国高速鉄道車両の投資スケジュール
- 中国地下鉄案件での価格競争力アップ
- 中国以外のマーケットへの参入チャンス

油圧機器
中国市場

- 市場の完成車在庫及び部品在庫の解消タイミング
- 業績回復は2013年7月以降(ベストシナリオ)

「新エネルギー事業本部」の新設(2013年4月)

精密機器セグメント

太陽追尾駆動装置

航空・油圧機器セグメント

風力発電用駆動装置

精密機器セグメント

新本部

太陽追尾駆動装置

風力発電用駆動装置

香港地下鉄 MTR Corporation 向けプラットホーム・スクリーンドアおよび可動式ホーム柵を受注

- ✓ 製品: プラットホーム・スクリーンドア及び可動式ホーム柵
- ✓ 路線: 香港MTR新規路線Sha Tin to Central Link 線および既存線 Ma On Shan Line
- ✓ 受注金額: HK\$415 million

次の成長に向けた主要経営指標

Nabtesco

	2012年3月期 <実績>	2013年3月期 <見通し>	2021年3月期 <長期ビジョン>
売上高	1,985億円	1,805億円	4,000億円
営業利益	228億円	142億円	600億円
営業利益率	11.5%	7.9%	15.0%
ROA	7.6%	-	11.0%
ROE	15.6%	-	18.0%

Notes:

- 次の中期計画最終年度2017/3期売上高3000億円、営業利益率13%以上を中間目標に。
- リスク：新興国サードパーティの出現による競合環境の変化。

M&A投資

想定ターゲット

技術の獲得

- a. メカトロニクス製品化による付加価値の創造
- b. 介護医療関連

市場の獲得

自動ドア事業における販路開拓

生産能力の獲得

表面処理工程等

当社にない要素

設備投資

想定ターゲット

自動化

海外市場での
生産推進

ブラック・ボックス化

うごかす、とめる。

Nabtesco